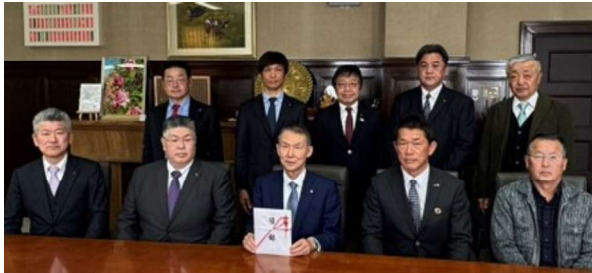


## 【クラブ活動報告】

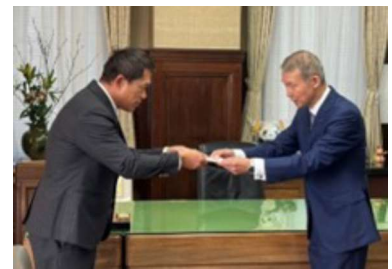
### 県を通じて「能登半島地震」被災地へ義援金を届けて

#### 和歌山市内9ロータリークラブ

1月1日に勃発した「能登半島地震」被災地に何か会員として応援できないか、との思いで和歌山市内9RC会長・幹事会で全会一致となり、9RC会員全員から善意の合計188万円が集まった。



早速、2月13日(火)に和歌山県庁にて岸本和歌山県知事に目録贈呈したところ、岸本知事からは我々和歌山市内9RCに感謝の言葉を頂きました。当日の様子はNHKとテレビ和歌山から取材・報道頂きました。



なお、同じ内容を「ロータリーの友」にも投稿します。

### 能登半島地震の支援活動について



#### 和歌山城南ロータリークラブ

クラブ例会で3週にわたり「令和6年能登半島地震」支援募金活動を実施し集まった50,000円を、和歌山市内9RCの支援募金と合算して和歌山県を通じて被災地に送金しました。



#### 能登半島地震被災地支援 和歌山市のロータリークラブが義援金

【和歌山 NEWS WEB 2月13日 掲載】



能登半島地震の被災地を支援しようと、和歌山市内のロータリークラブが集めた義援金188万円が岸本知事に手渡されました。義援金は、石

川県などを通じて被災者の生活支援に充てられるということです。

先月、最大震度7を観測した能登半島地震の被災地

は、地震から6週間がたったいま多くの人が避難生活を余儀なくされていて、水道や道路などの復旧や生活再建の見通しが立たない状況が続いています。

こうした中、13日は、和歌山市内の企業経営者などで作る「ロータリークラブ」の代表者10人が県庁を訪れ、岸本知事に義援金188万円を手渡しました。

岸本知事は、「現地の復旧・復興は道半ばで、派遣された県の職員もテントを張って寝泊まりしている状況です」と述べ、義援金を大切に届けたいという意向を伝えていました。

この義援金は、市内9つのロータリークラブの会員から集めたもので、全額が石川県などを通じて被災した人たちの生活支援に充てられるということです。

和歌山城南ロータリークラブの東徹 会長は、「和歌山もひとつとでない。インフラの整備などに活用してもらい、1日でも早く復旧・復興を果たしてほしい」と話していました。